

2022年3月期 第2四半期決算



The First Section of the Tokyo Stock Exchange 3034

クオールホールディングス株式会社

(東証一部：証券コード 3034)

目次

I 決算概要

II セグメント別業績

III 事業概況と成長戦略進捗

IV トピックス

I 決算概要

増収増益を達成

利益計画は上方修正

■ 調剤薬局事業

- ✓処方箋枚数UPによる売上拡大
- ✓在宅調剤強化による売上貢献
- ✓GE加算率の推進等による技術料収入増加
- ✓コスト適正化・生産性向上による利益押上げ

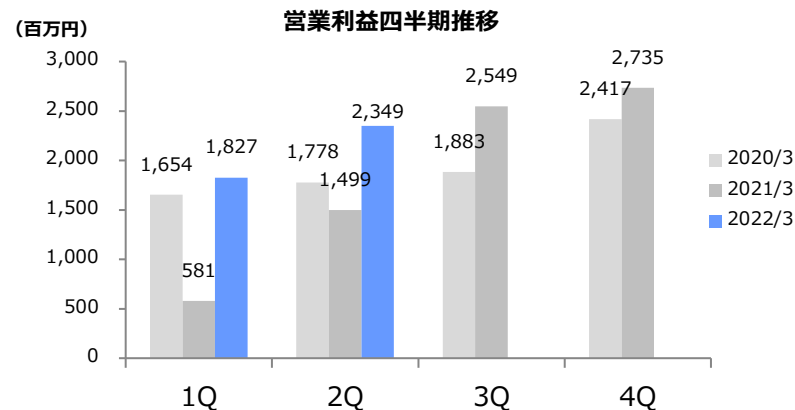
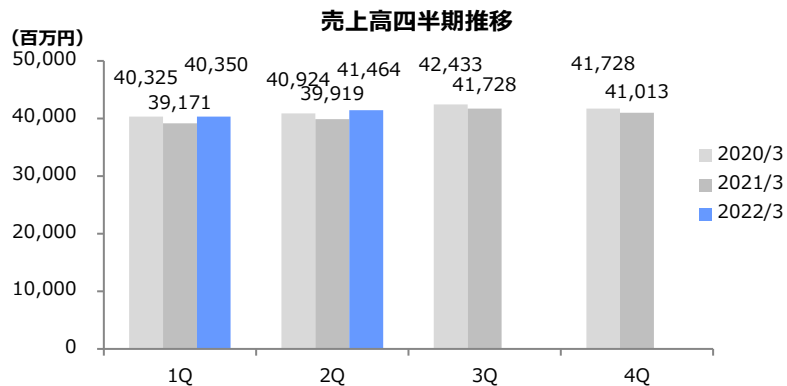
■ 医療関連事業

- ✓CSO事業計画通りの進捗
- ✓医薬品製造販売事業の法令遵守

2022年3月期2Q 連結業績ハイライト



(単位：百万円)	2021/3期 2Q実績	2022/3期 2Q実績	増減	増減率 (%)
売上高	79,090	81,814	2,724	3.4%
営業利益	2,080	4,177	2,097	100.8%
経常利益	2,109	4,274	2,165	102.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	630	2,455	1,825	289.4%
1株当たり 四半期純利益 (円)	16.75	66.98	50.23	299.9%



(単位：百万円)	2022/3期 2Q実績	2022/3期 通期計画 期初(5月14日発表)	2022/3期 通期計画 修正(10月18日発表)	進捗率 (%)
売上高	81,814	175,000	175,000	46.8%
営業利益	4,177	9,000	10,000	41.8%
経常利益	4,274	9,000	10,000	42.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,455	4,200	5,000	49.1%
1株当たり 四半期純利益 (円)	66.98	114.67	136.39	49.1%

(単位：百万円)	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q	増減	増減率 (%)
売上高	79,090	81,814	2,724	3.4%
売上原価	70,008	70,957	949	1.4%
売上総利益	9,082	10,857	1,775	19.5%
販管費	7,001	6,679	△322	△4.6%
営業利益	2,080	4,177	2,097	100.8%
利益率(%)	2.6%	5.1%	-	-
経常利益	2,109	4,274	2,165	102.7%
利益率(%)	2.7%	5.2%	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	630	2,455	1,825	289.4%
利益率(%)	0.8%	3.0%	-	-

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2021.3.31	2021.9.30	増減
流動資産	45,499	42,532	△2,966
現金及び預金	19,648	16,431	△3,217
固定資産	55,062	55,025	△37
有形固定資産	12,730	12,877	147
無形固定資産	34,938	34,594	△344
資産合計	100,571	97,565	△3,006
流動負債	38,709	36,580	△2,129
固定負債	20,026	19,918	△108
負債合計	58,736	56,498	△2,237
有利子負債	29,729	28,811	△918
純資産	41,834	41,066	△768
自己資本	41,162	41,026	△135
負債純資産合計	100,571	97,565	△3,006

	(百万円)
流動資産	<u>△2,966</u>
商品及び製品	+1,095
現金及び預金	△3,217
固定資産	<u>△37</u>
流動負債	<u>△2,129</u>
買掛金	△1,784
固定負債	<u>△108</u>
純資産	<u>△768</u>

自己資本比率：42.1%

- ・ 手元資金の適正化
 - ・ 当貸枠等の融資枠の拡大
- **強固な財務基盤**
- **変化への即応体制**

(単位：百万円)	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q
営業活動による キャッシュ・フロー	2,862	2,638
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,027	△1,775
フリーC/F	835	862
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,875	△4,125
うち配当金の支払額	△530	△527
現金・現金同等物の 増減額	△2,040	△3,262
現金・現金同等物の 期首残高	15,766	19,498
現金・現金同等物の 期末残高	13,726	16,236

	(百万円)
営業活動によるキャッシュフロー	+2,638
税金等調整前四半期純利益	+4,280
仕入債務の減少額	△1,848
投資活動によるキャッシュフロー	△1,775
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	△1,794
財務活動によるキャッシュフロー	△4,125
長期借入れによる収入	+5,100
長期借入金の返済による支出	△5,261
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	△2,845

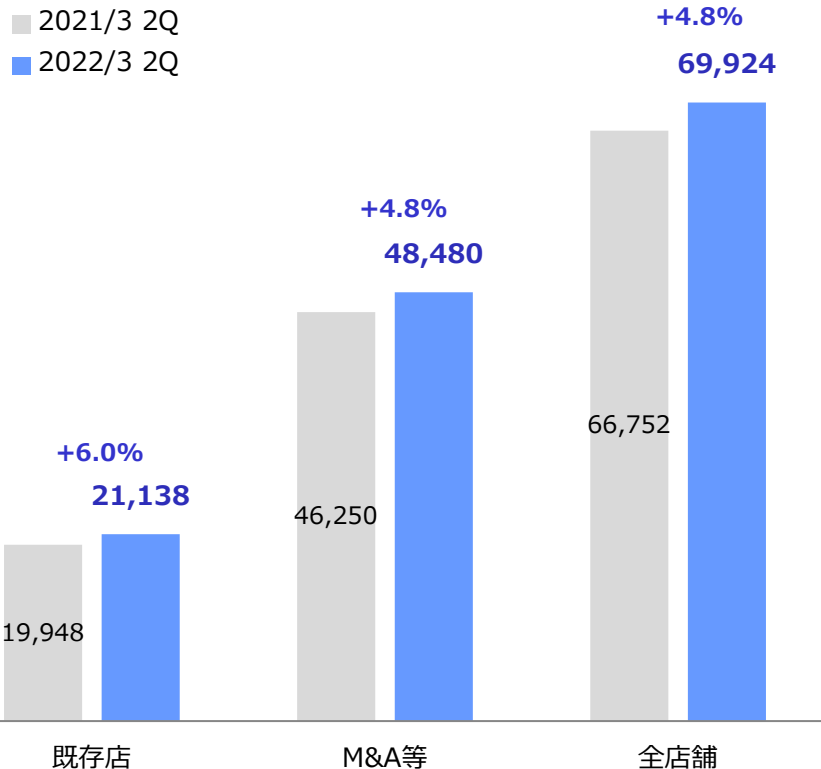
- **健全な財務基盤を維持**
- **潤沢な資金調達余力を活用し
M&Aや連携を機動的に実施**

Ⅱ セグメント別業績

(単位：百万円)	2021/3期 実績	2Q	2022/3期 実績	2Q
調剤薬局事業売上高		72,336		75,341
セグメント利益		3,175		5,181
利益率(%)		4.4%		6.9%
医療関連事業売上高		6,754		6,473
セグメント利益		935		663
利益率(%)		13.8%		10.2%

調剤売上高 (百万円)

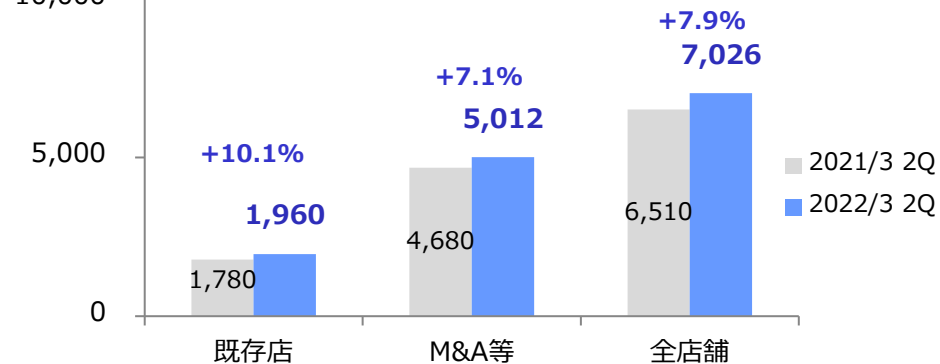
(調剤売上高=処方箋応需枚数×処方箋単価)



(千枚)

10,000

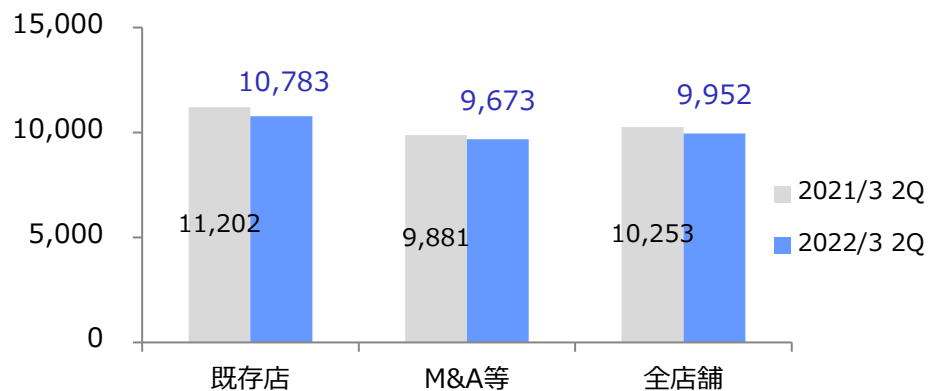
処方箋応需枚数



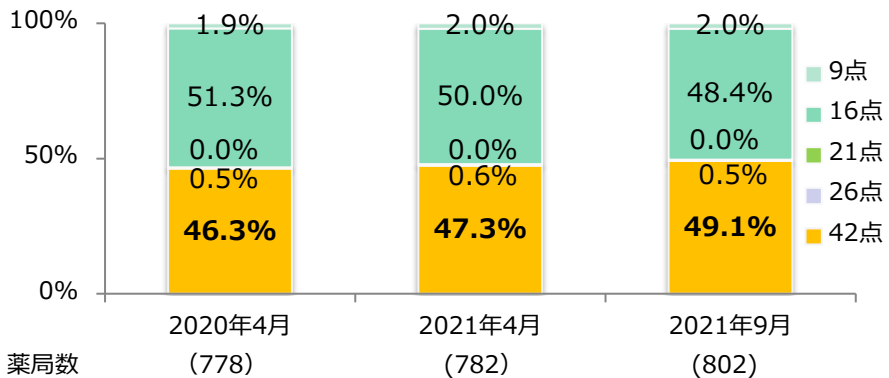
(円)

15,000

処方箋単価

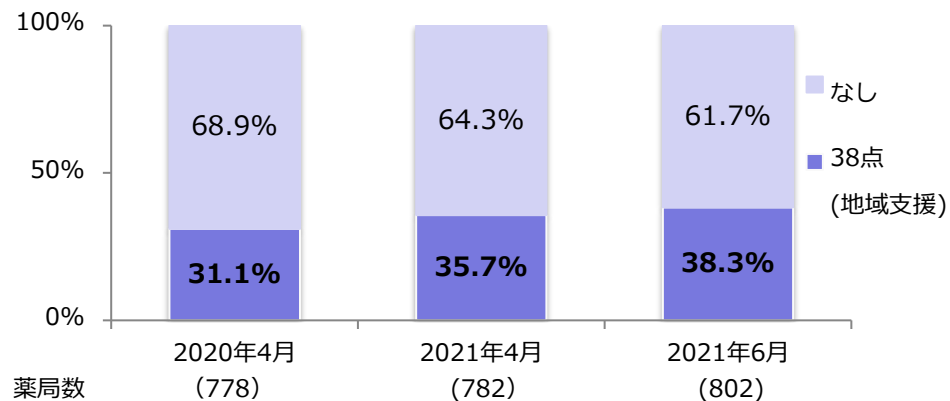


調剤基本料 店舗割合

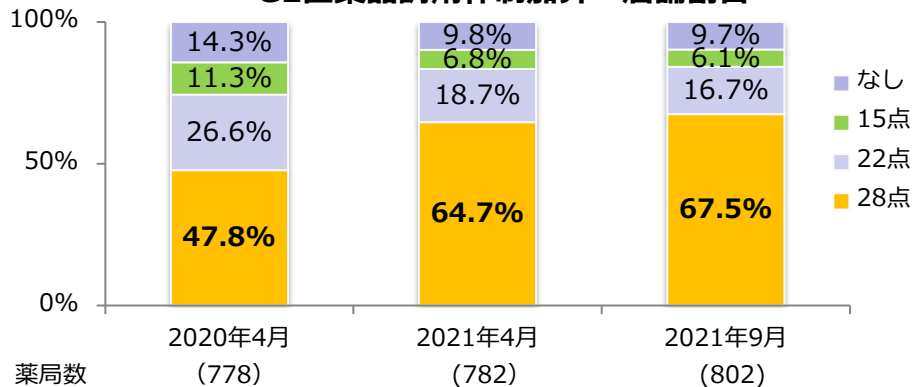


地域支援体制加算 店舗割合

(連結ベース)

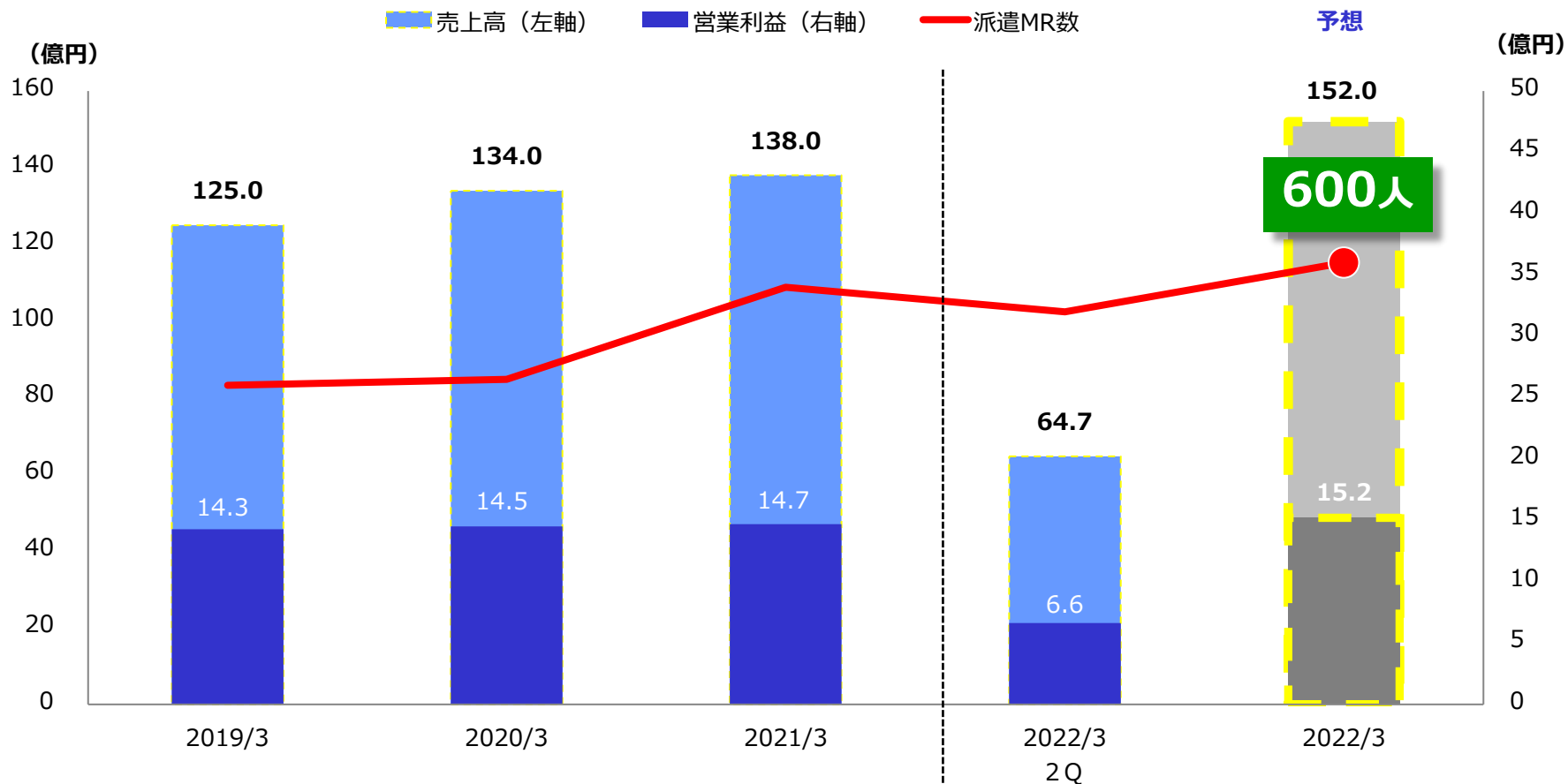


GE医薬品調剤体制加算 店舗割合



GE変更率 (数量ベース)

86.0%
(2021年9月)



Ⅲ 事業概況と成長戦略進捗

基本重点戦略

2021年度重点施策

調剤薬局 事業

・在宅調剤

- 戦略的出店による規模の拡大
- 薬局の価値創出



在宅調剤

デジタル化(DX)

医療関連 事業

- ・CSO (CMR派遣)
- ・医療人材紹介派遣
- ・医薬品製造販売
- ・医療系出版

- 専門性の深化
- グループシナジーの最大化

基本方針

出店による規模拡大

全国平等な医療の提供

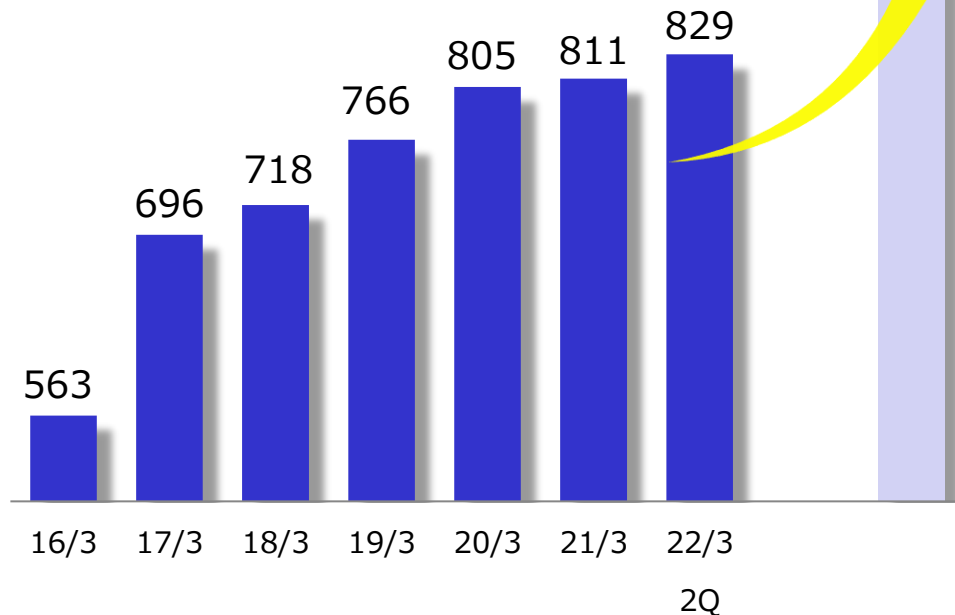
厳格なM&A基準

新業態店舗 推進

	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3 2Q
新店	20	17	18	16	13
M&A	14	50	39	18	8
売店	1	0	3	0	0

売上拡大

1,000店舗



無印良品 直江津「まちの保健室」において良品計画と 協業パートナーとして参画



無印良品 直江津「まちの保健室」内のクオール薬局直江津店



健康体操イベント（左）や管理栄養士による健康講座（右）



地域密着型薬局がグループ入り

■ ケーアイ調剤薬局

宮崎県・鹿児島県にて8店舗グループ入り （7月）

■ 株式会社齊太薬局

秋田県にて4店舗グループ入り （11月）



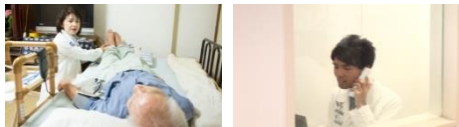
齊太薬局（重要文化財指定）

健康 サポート 薬局

入退院時や在宅医療に他医療提供施設
と連携して対応できる薬局

地域連携 薬局

入退院時や在宅医療に他医療提供施設
と連携して対応できる薬局



- ・ 在宅推進
- ・ アフターフォロー拡充
- ・ 無菌調剤
- ・ プライバシーへの配慮

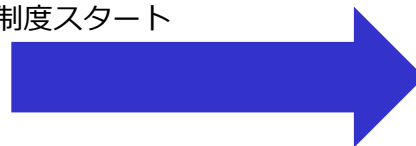
専門医療機関 連携薬局

がん等の専門的な薬学管理に他医療提供施設と連携して対応できる薬局



- ・ 社内教育充実
- ・ 他医療提供施設との連携
- ・ 他薬局への研修
- ・ 高度薬学管理への対応

2016年
制度スタート



11月1日現在

157 薬局

83 薬局

2021年8月
制度
スタート

認定
取得
準備

7 薬局

随時申請中

在宅調剤事業

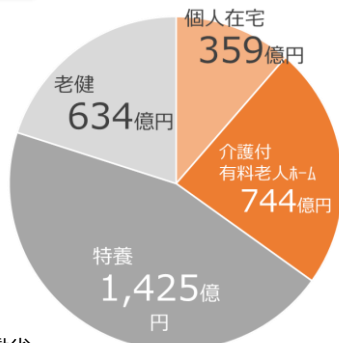
来局困難な患者さまに対し、薬剤師が直接ご家庭・施設に訪問し、服薬指導を行う事業

拡大
傾向

市場規模

3,100
億円※

高齢化



QOL QOLグループ
Quality Of Life



ご家庭

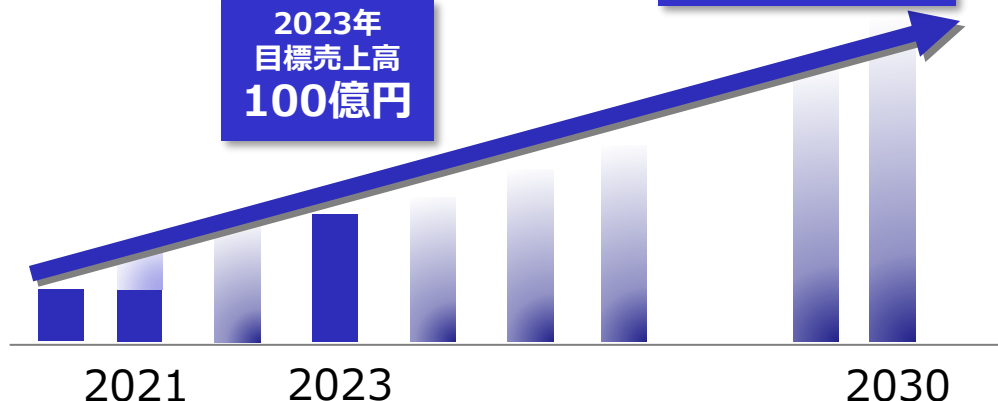


施設



事業拡大

2023年
目標売上高
100億円



※データ元 厚生労働省
「介護給付費等実態統計 令和2年9月 月報」より当社推計

クオールの強み

マンツーマン薬局

医療機関との強い連携

質の高い薬剤師

クオールにしかできない強み

薬局機能

- ・最新調剤機器の活用
- ・医療安全（バーコード管理）
- ・感染対策支援
（オゾン関連製品（販売・リース））
- ・在宅特化型店舗
- ・管理栄養士による栄養サポート
- ・ご家族へ薬剤情報の提供
フォローアップ

お買い物体験（ラストワンマイル）

移動販売サービス

ローソン
との連携質の高い
医療の提供患者さまの
生活の質
向上

シェア拡大

医薬品
ロス削減

一般的な取組み

- ・お薬の配送
- ・服薬指導
- ・お薬カンガ-
- ・日別に整理

調剤機器やITを
活用した業務効率化



新型コロナウイルス感染症で加速

デジタル
トランスフォーメーション

AIスピーカーによる
医薬品在庫チェック



AI在庫需要予測発注で
医薬品の発注業務軽減

PHR(パーソナルヘルスレコード)

オンライン服薬指導



電子処方箋



現状認識

新薬の需要増

フレキシブル人材としての活用が活発化

高いITリテラシーの要求

販売情報提供活動GL対応等のニーズ増

新卒採用減・早期退職→正社員MR減

専門領域MR需要→増

活用企業数→増



強化

専門性の追求

取引社数の開拓

取引社数
業界No.1として
事業拡大



いのちの現場の、
力になりたい

専門性の追求



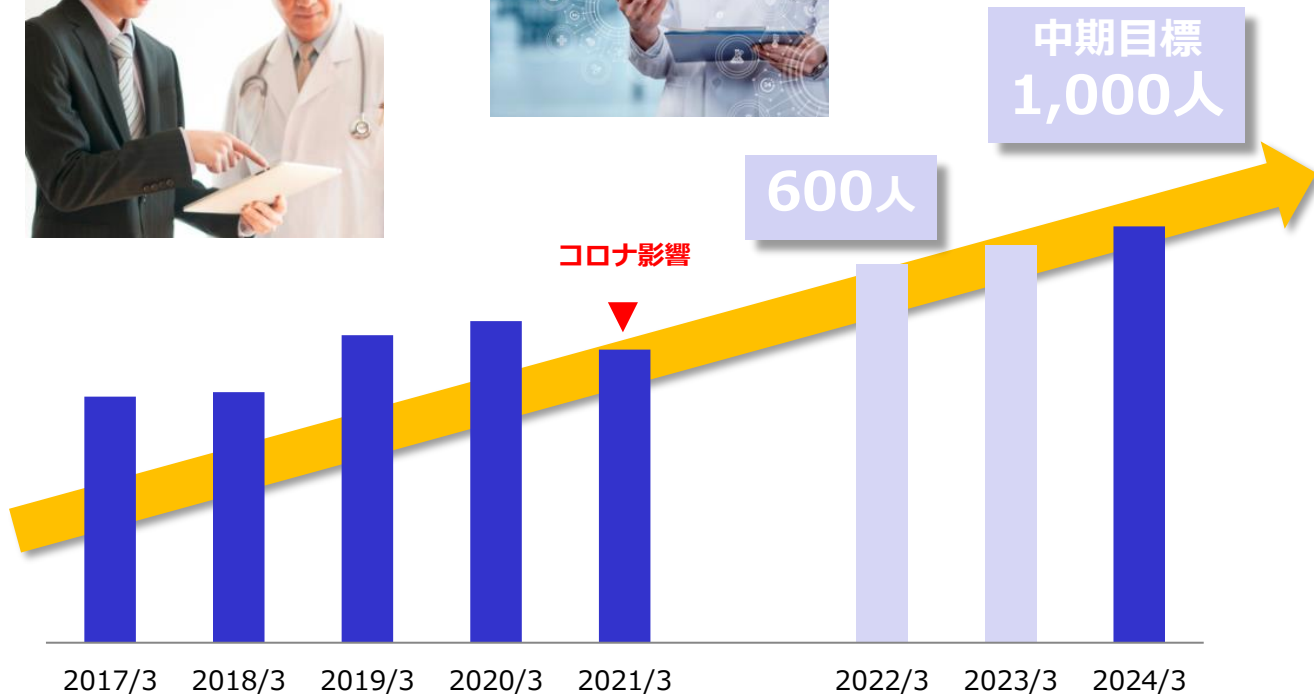
業界随一総勢20人
クオールアカデミー講師陣

オンコロジー
領域
(ONC)

炎症性腸疾患
(IBD)

中枢神経疾患
領域
(CNS)

高付加価値
CMR創出



アプラスステーションCMR数

市場規模 約2,000億円

(出所：日本CRO協会年次報告内会員47社)

国内CRO市場



医薬品

食品

医療機器

✓アポプラスステーションは医薬品分野だけでなく、食品分野での治験に強み

✓専門性の高い分野の強化

→食品試験、生物学的同等性試験、CRA（臨床開発モニター）派遣

基本方針

専門性の高い 人財育成

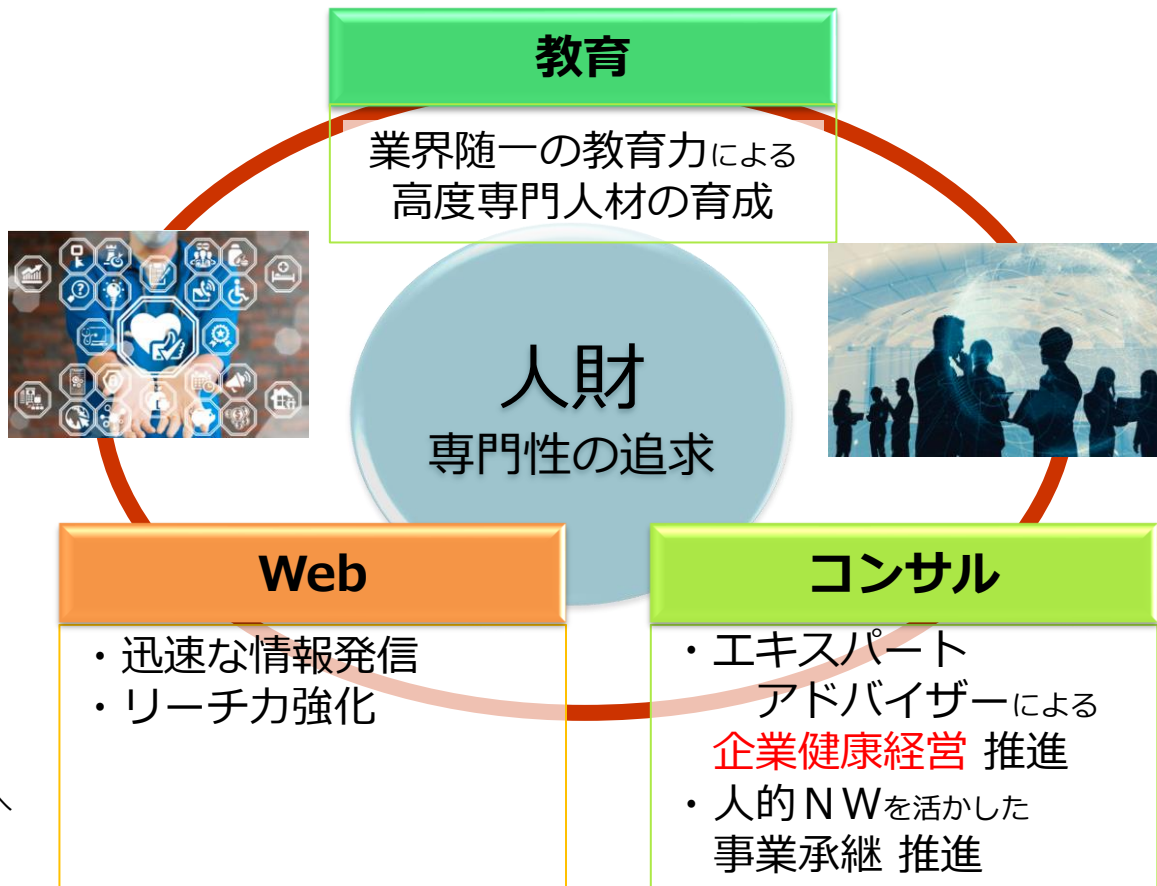
基本戦略

人財を中核に 教育・WEB・コンサル による 事業領域拡大



APOPLUS CAREER

輝く医療の未来を創造し、
業界NO.1の選ばれる先進企業へ





藤永製薬株式会社

かけがいのない命 未来につなげます。

クオール薬局グループへ
藤永製品導入

品目数の増加

工場設備投資
M&A

大手製薬企業
連携

既存資産の
利活用

- グループシナジーの探求
- 周辺事業への進出
- コンプライアンス遵守

基本方針

Withコロナを契機とした
コミュニケーションサポート
による新需要創出

基本戦略

映像制作・配信サービス
を中核に
企業研修・講演会・学会
領域拡大

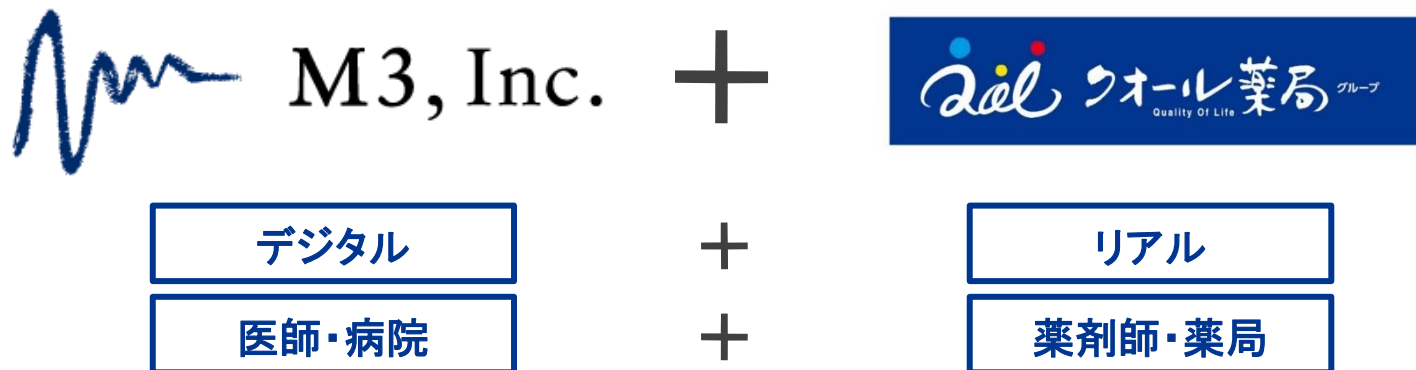


メディカルクオール株式会社

医療・医薬のコミュニケーションサポートを
通じて健康文化に貢献する



IV トピックス



幅広い医療ニーズに対応するために
両社のリソースを最大限に活用する業務提携に向けた
協議を開始



障がい者が活躍できる環境づくりを推進し社員数が50名に到達



テレワークする社員



社員教育が結実

デザイン性の高い年賀はがきの作成





日本最大規模の女性アワード

「Forbes JAPAN WOMEN AWARD 2021」

企業部門 **第3位** (クオール株式会社)

女性リーダー、プロフェッショナルを続々と輩出している企業と、自ら道を切り拓き自分らしく働く女性を讃えるアワード



受賞式で挨拶する柄澤社長
(クオール株式会社)



セサミストリートはクオールグループの応援キャラクターです

放送開始から50年以上の歴史を持つ、世界160ヶ国以上で放送・展開されている番組のキャラクター



クオールグループは「すべての子どもたちが、可能性の扉を開くことができる社会」を目指す、セサミストリートの活動を応援しています。



© 2021 Sesame Workshop. Sesame Street and associated characters, trademarks and design elements are owned and licensed by Sesame Workshop. All rights reserved.



【IRお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

T E L : 03-6430-9060

F A X : 03-5405-9012

E-mail : ir@qol-net.co.jp

お問い合わせページ : <https://www.qolhd.co.jp/inquiry/>

【免責事項】

本資料および参考資料の内容につきましては、株主・投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料に将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうることもあり、確約や保証を与えるものではありませんのでご了承ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する決定は、株主・投資家の皆さまのご判断において行われますようお願いいたします。



あなたの、いちばん近くにある安心